

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日 水曜日13:00～14:00
 例会場 ANAクラウンプラザ
 グランコートホテル名古屋
 承認 2013年6月18日

会長 青木恭子
 幹事 荒山久美
 公共イメージ
 向上 藤谷 猛



ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度名古屋アイリスRCのテーマ

柔軟性を尊重し活気と充実のアイリスに

●お問い合わせ: office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト: http://www.nagoya-iris-rc.jp

第338回 例会

2020年11月4日 13:00～

- 司 会 島村恵三 例会・出席委員長
- 齊 唱 君が代、奉仕の理想
- 出席報告 出席者数 16名 / 29名
出席率 55.17%
- ゲ ス ト
- ビジター

ニコボックス

- 青木恭子 会長
今日は大統領がどうなるのでしょうか。
- 荒山久美 幹事
11月になりました。コロナ感染者増加中です。
“隣のコロナ”です。気をつけましょう！！
- 菊地富士子 会長エレクト
本日は地区会員増強委員の報告を致します。
- 安井忠 会員増強・クラブ戦略委員長
11月に入り寒くなって参りました。感染が拡大しています。マスク、手洗い、うがいを必ず行い3密を守り予防に努めましょう。

11月度 誕生日お祝い

21日 山田智博さん 27日 岡本聡哉さん
 30日 伊藤喜子さん

会長挨拶



こんにちは。本日も空高く青い空が広がりそよ風がとても気持ちの良い日です。お元気でお集まり下さいましてこの上なく、アイリスとしてはありがたいこととございますし、お互いとても嬉しいことです。

長い自粛生活による空気汚染を免れ今年は秋がしっかり感じられるのでしょうか。それに反して人対人の生活が所々で不穏なものになりつつあるのも見逃せません。ニュースにも時々目にするささいなこと、マスクの付け方、そしてしつこいまでの社会性に反した行動をした人への攻撃！SNSを通して人を攻撃する群集化心理的な残酷さ、多くの人の命をも

追いつめて奪ってしまう陰湿な見えないところで悪ともいえることが広がっていることも並行して見逃すことができません。

能科学者、中野信子氏が著書「人はなぜ他人を許せないのか」の中で次のように書いておられます。『人の脳は裏切り者や社会のルールから外された人といったわかりやすい攻撃対象を見つけ罰することに快感を覚えるようにできています。他人に正義の制裁を加えると脳の快楽中枢が刺激され快楽物質であるドーパミンが放出されます。この快楽にはまってしまうと簡単には抜け出せなくなってしまい罰する対象を常に探し求め決して人を許さなくなるのです。こうした状態を私は正義に溺れてしまった中毒状態いわば「正義中毒」と呼ぼうと思います。この認知構造は依存症とほぼ同じだからです。特に対象者が例えば不倫スキャンダルのようなわかりやすい失態をさらしている場合、そしていくら攻撃しても自分の立場が脅される心配がない状況が重なれば正義をふりかざす格好の機会となります。』

これは、ウサギとかネコ、ライオン等の動物には生命のサイクル、本能のままで起きません。理性、知性が与えられた人間のみはその大脳皮質を与えられた見返りとして持ってしまった宿命といえるそうです。SNSが「ルールを則らない何かを許せない」という人間の感情を可視化したことは確かです。誰かを許さないことで自分を肯定したい、自分を認めてもらいたいという欲求の裏返しのようにも見えます。であれば、対象を見つけ、喧嘩を吹っかければそれだけで自分は正しく生きる正義の味方である！という認知が得られるわけです。SNSは中毒の人にとってはなかなか魅力的なツールなのでしょう。私達は色々の集団に属し、仕事、ロータリー、友人など社会生活に平和を求め豊かな人生を求めている中で、このようなトリックも人間の脳の中に発達段階において組みこまれているということも冷静に受けとめ、より一層自分でこのトリックにはまらないよう、また理性を持って持つほど更なる深みに入っていくという難しい人間関係を何とか楽な関係にしていけたらと思います。

本から学んだことを皆様に聞いていただきました。ああそうなのかと、思う反面避けられないというのも複雑ですね。

今日は、アメリカ大統領選挙の開票ですね。

幹事報告

今年度は、前年度より続いているコロナ禍のために思うように社会奉仕活動を行う事が出来ておりません。

そこで今後の社会奉仕活動について皆さんと共に考えたいと思います。このような時期ではありますが、こんなことをやってみたい、こんな社会奉仕はどうだろうというお考えをお持ちでしたら是非ともお伝え頂ければと思います。皆さんのお知恵を持ち合い 12 月の理事会で決定できればと思っておりますので宜しくお願い致します。

卓 話

演題:柔軟性を活用する会員増強と退会防止

卓話者:菊地富士子 会長エレクト



柔軟性を生かした会員増強・退会防止についてお話させていただきます。世界的に見ますと、これまでにない世界的な会員減少が起きています。ホルガー・クナークRI会長が「数に拘泥するのは無意味である、数字にこだわって成功したことはない」とおっしゃっていますが、このような会員の減少に対してRIや地区は、4月より度々対応策を打ち出しました。長引く新型コロナウイルス危機に備え、クラブ例会、理事会をオンラインで開催することの勧めやRI理事会報告例会出席を義務付けない、そして年内のすべてのRI理事会・委員会会合はオンラインで実施するなど例会の開催方法、取り消しについては、各クラブがクラブの状況に応じて判断をするようにとの連絡が来ました。

「WITHコロナ」、「AFTERコロナ」の「対策」として私達クラブは、今後「会員増強・退会防止」のため、どのような考え方を取るのかを考える必要があります。

クラブ例会と出席に柔軟性を認める件については、各クラブが細則で例会頻度と出席に関する規定を定めることができます。8名以上の会員が集まり、既成のクラブがスポンサークラブとなって設立や運営を指導すれば、新しいクラブが作れることになりました。これが衛星クラブです。衛星クラブの会員は、同時にスポンサークラブの会員です。衛星クラブの会員数は、スポンサー

クラブの会員数に合算されます。衛星クラブの会員が20名以上になれば、スポンサーク



ラブと協力して独立し、通常のクラブとなることもできますし、人数が増えても衛星クラブのままでも可能です。

次にローターアクトクラブについてお話させていただきます。30才まで、という年齢制限がなくなりました。30才以上の方がローターアクトクラブに入会することも可能

になりました。クラブの会員のニーズに対応するためにどんなことが出来るのかを学び、検討の結果、クラブを変える必要はない、ということであれば、自信を持って現在の形でクラブ運営を続けて下さい。その場合でも会員のニーズを調べず、ニーズに対応するたくさんの方があることを知らず、それまでのやりかたを何も考えずに、ただ踏襲するのは大きな違いが出てきます。現状のまま変わらないクラブ、少し修正を加えるクラブ、どんどん変わっていくクラブがあります。やがて個性豊かないろいろな形のクラブが出来上がります。その奥に共通するのはいつも変わることのないロータリー精神です。時代に応じクラブに応じた柔軟性ある規則を作り、その規則を柔軟に運用し、その奥底には、どんなときも変わらぬロータリー精神を持っているそうしたクラブになりましょう！

柔軟性を活用した会員増強と退会防止をよろしくお願い致します。

編集後記 (会員増強について)

近年、ロータリーの人口は世界的に減少傾向にあります。もちろん日本国内のロータリークラブも同様の変化が伺えます。そしてこの時期、コロナ禍が個人の生活や経済を襲い、経験したことのない世界が現れました。そんな中において事業の経営も難しくなり困難と戦っている会員が多数存在することは明白です。今後のロータリー活動を持続的に行うためにも会員増強は重要です。

私たちのクラブにおいても会員数の減少を抑え何とか増加の方向へ向かうために会員各々が何を考え、どう行動すれば良いのか深く考える時期が来たのではないのでしょうか。

これまでロータリークラブは社会奉仕を行い社会に貢献してきました。私達のクラブにおいても名古屋大学附属病院の小児がん病棟を中心に継続的な支援を行ってきました。しかし、このコロナ禍では自分の事で手いっぱいの方が多く存在することも事実です。まず、各自の事業を安定させ、もう一度、その力を合わせ充実した社会奉仕ができるよう頑張りましょう。

会員の皆さんの事業がコロナに打ち勝ち、再び活気のあるクラブを作り上げ、生かされている喜び、事業を行える喜びを感謝に変え、社会奉仕の心へと昇華できればと思います。

世界の会員数

1,222,446名(2019年6月)



1,217,616名(2020年5月)

2760地区の会員数

4,815名(2019年7月)



4,744名(2020年6月)